

ふれあい曾山医院

2004年5月号(第30号)

発行人：曾山 信彦

津名郡津名町志筑1391-9

Tel: 0799-62-5566

http://www.h6.dion.ne.jp/~soyama

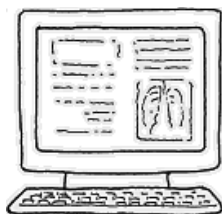
患者様と共に

③

【曾山 信彦】 病診連携とセカンドオピニオンについて説明させていただきま

す。当院では電子カルテの病状経過や検査データを組み合わせて紹介状(診療情報提供書)を作成できます。

これらを用いFAX等で診療予約できる病院は



- ① 県立淡路病院
- ② 神戸市立中央市民病院
- ③ 神戸掖済会病院
- ④ 西神戸医療センター
- ⑤ 神戸大学附属病院
- ⑥ 国立循環器病センター
- ⑦ 県立成人病センター
- ⑧ 聖隷淡路病院
- ⑨ 神戸市立西市民病院
- ⑩ 兵庫県立総合リハビリテーションセンター

等です。

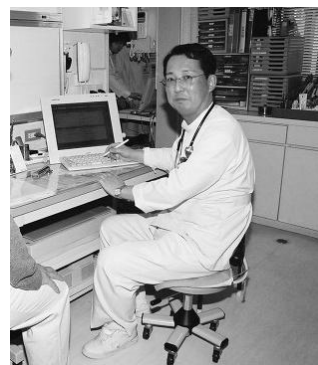
各病院の地域医療連携室が紹介・結果報告・逆紹介を支援しています。

セカンド・オピニオンとは「第二の意見」つまり診断や治療方針について主治医以外の医師の意見を言います。

インフォームド・コンセント(説明と同意)においては治療法の決定に患者様やご家族の意思を尊重します。

医師からインフォーム(説明)を受けても、情報も知識もない場合不安に感じます。だから知識を持っている人へ専門医に相談し、意見を聞くわけです。

インフォームドコンセントとセカンドオピニオンは車の両輪です。



年に1回は健康診査をうけましょう

近年、人々の健康に対する関心が高まっている半面、飽食や運動不足による肥満や生活習慣病は確実に増加しています。



生活習慣病はこれといった症状の無いまま、じわじわ時間をかけて発症するため、症状が出現する頃には病気がかなり進行している場合もあります。

☆それではどうすればよいのでしょうか？

1つは“予防”です。そのために、まず、自分のことを知る事が第1です。日々の生活習慣や行動を観察し、改善していく知識と技術を身につけ、自分自身で自分の健康を守りましょう。

2つめは“早期発見・早期治療”です。このためには定期的に健康診査を受ける必要があります。職場健診や医療保険のきかない人間ドックもありますが、老人保健法によって各市町において40歳以上の方は、低額で基本健診やがん検診を受けることができます。

☆もし健診結果に「異常値」がある時は・・・

まず保健師やかかりつけ医に相談するとよいでしょう。「要精検」の場合には、本当に大丈夫かどうか、必ず精密検査を受ける必要があります。早期に病気が発見できれば、がんでも治りますし、適切な治療を受けることで“一病息災”の例えのように、健康に暮らしていくこともできるでしょう。

健康診査でわかることには・・・

問診、身体計測、血圧測定、尿検査(尿たん白・潜血・尿糖)、血液検査(貧血・肝臓・腎臓病・糖尿病・動脈硬化・前立腺がんの有無など)、心電図、眼底検査、がん検診(胃がん：胃部X線検査・肺がん：胸部X線検査・大腸がん：便潜血反応検査・乳がん・子宮がん)、骨粗鬆症検査(骨塩定量検査)などがあります。

健診を受ける上でのポイント

1. 年1回は必ず受ける
2. 精密検診は必ず受診する
3. 健診結果を保存し、生活習慣の改善に役立つ
4. 健診機関はなるべく同じところで
5. なんでも相談できるかかりつけ医を持つ

内容や実施日程については各市町村によって異なりますので、詳しくは市町の窓口にお尋ねください。また乳がんと子宮がん検診のみ対象年齢が30歳以上となります。

(岡崎 博子 看護師)